

市民意見交換会の提言

土岐川庄内川河川整備計画への提言 土岐川庄内川の魅力資源を活かした 豊かな川づくりに向けて

平成17年2月27日
土岐川庄内川コレカラプロジェクト
第10回 土岐川庄内川市民意見交換会

基本的視点

川の魅力、川の豊かさに 視点を当てる

土岐川庄内川は、今もなお特有の魅力資源が随所にあります。

第1に、河口にはラムサール登録湿地の藤前干潟があります。日本最大級の渡り鳥の飛来地を河口にもつ土岐川・庄内川は、日本国内はもとより「国際的河川」と言ってもいいでしょう。

第2に、玉野溪谷や虎渓山永保寺周辺、白狐温泉周辺など、自然の溪谷美を見ることができます。山奥にある溪谷ではなく、都市の身近な場所に溪谷があるというのも、都市河川としては希少であり、すばらしい自然的資源をもった川であるといえるでしょう。

第3に、上流の土岐川では、河床の岩盤に化石を見ることができます。瑞浪市では、子供たちや市民が土岐川で化石とりを楽しんでいます。「化石とりができる河原をもつ川」というのも、土岐川・庄内川特有の魅力です。

第4に、土岐川庄内川は、今もなお魅力的で多様な姿をとどめています。河口部に広がるヨシ原の風景、一色大橋の袂に残る松並木の風景、枇杷島橋下流の広い河川敷と多様な河川利用、周辺の歴史資源、勝川橋上流の中流部らしい川の風景、溪谷、多治見市から上流の街並みや人々の暮らしと結びついた川の風景など、多様な魅力資源がちりばめられています。

川の魅力資源に視点を当てて川を歩いてみるといろんなものが見えてきます。多くの市民が土岐川・庄内川の魅力に気づき、川と多様な関わりを持つ、そのための提案を行うことが、市民意見交換会にふさわしい提案のあり方ではないかと思います。土岐川庄内川の魅力を発見し、川と関わりを持つということは、市民一人一人が今すぐにでも始められることですし、そこに土岐川・庄内川の「再生力」の源があると考えます。

「土岐川庄内川の魅力資源を活かした豊かな川づくり」ということを、河川整備計画の大きな基本テーマとしたい。



藤前干潟



玉野溪谷



クロハツ並木（一色大橋）

1 土岐川庄内川4つの目標

(1) 多様な生態系を育む環境、ゴミのないきれいな川にしよう

- 流域全体や周辺環境に視野を広げ生態系を育む「緑」と「池・湿地」のネットワークを保全する
- 河岸や流れの形態の多様性を確保したい。
- 水質を向上させ、生態系豊かな遊べる川にしたい。
- ゴミのないきれいな川づくりを進める。



中流独特の川の風景（吉根橋上流）

(2) 川の本風景、歴史資源を保全活用していく

- 土岐川庄内川の特有の美しい風景を保全する。
- 川と人のかかわりの歴史を伝える遺構を大事にする。
- 周辺の歴史ポイント（史跡、神社、仏閣、街道、街並み等）を川づくりに活かす。
- 見晴しのいい場所（ビューポイント）から、川の風景を楽しめるようにする。



万場の渡し跡（万場大橋下流）

(3) 豊かな川体験を伝えたい、憩いの場をつくりたい

- もっと川に近付きやすくする。（特に下流域）
- 川沿いを歩ける道、サイクリングできる道を確保したい。
- 自由に遊べる河原が少ない。河原の利用、管理についての指針が必要。
- 子どもたちの、水辺での体験をもっと豊かにしていきたい。



化石とり（瑞浪市松ヶ瀬橋）

(4) 流域全体、地域参加で、治水・防災を考えよう

- 雨水貯留施設の普及など流域全体で「ゆっくり流す」ための工夫が必要。
- 災害を最小限に抑えるための対策が必要
- 防災に対する市民意識を高め、地域の防災対策を強化する
- 堤防強化と併せて水防拠点充実させる



桜並木と街並み（多治見市）

2 テーマ別の課題と方向性、提案したいこと

2-1 土岐川庄内川の本風景を大事にし、周辺の歴史文化を活かす

〔歴史・風景グループからの提案〕

■主要なテーマと代表的な場所

- 原風景的自然を大事にする
【玉野溪谷・虎渓山永保寺・白狐温泉などの溪谷美／ヨシ原が広がる河口部の風景／竜泉寺崖下の自然】
- 河畔林や並木のある川の風景を大事にする
【一色大橋クロハツ並木／多治見市に残る桜並木／川に点在する庄内川らしい樹木：ムクノキ、エノキ、アキニレなど】



ムクノキ